単元指導計画　　　小６　　　　　　　Hi, friends!２ Lesson１　Do you have “a”? アルファベットクイズを作ろう　　　　　　　［全４時間］

|  |  |
| --- | --- |
| 単元の指導目標 | アルファベットの小文字に慣れ親しむ活動を通して，小文字の形とその読み方を一致させるとともに，世界には様々な言語があることに気付き、相手の欲しいものを尋ねたり，相手が持っているかどうかを確かめたりする表現に慣れ親しみ，進んで尋ねたり答えたりしながらコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | １　**Good job！シート** | ２ | ３ | ４　**Good job！シート** |
| ねらい | ３１～１００までの数の言い方に慣れ親しむとともに，日本以外の国で使われている文字を見たり聞いたりすることを通して，世界には様々な文字があることに気付く。 | アルファベットビンゴをすることを通して，小  文字の形と読み方に慣れ親しみ，似ている形をし  ているアルファベット（“b”と“d”,“h”と“n”,  “p”と“q”,“r”と“n”等）があることに気付く。 | 相手があるものを持っているかどうかを尋ね  たりそれに答えたりする活動を通して，“Do you have ~?”“Yes, I do. / No, I don’t.”という表現に慣れ親しみながらコミュニケーションを図ろうとする。 | 自分の欲しいアルファベットを集める活動を通して，“Do you have ~?”“Yes, I do. / No, I don’t.”という表現に慣れ親しみながらコミュニケーションを図ろうとする。 |
| 英語表現 | ・Number　(31~100) | ・Alphabet　(小文字) | ・Do you have ~?  ・Yes, I do. / No, I don’t. | ・Do you have ~?  ・Yes, I do. / No, I don’t. |
| 学　習　活　動 | 1.Warm-up　あいさつと歌  ・チャンツ「How many penguins?」  2. ALT’s Time　ウ①  ・様々な言語で表された動物を表す語を見たり，聞いたりする。（Let’s Listen Disc1 No.14）  3. Activity　ア①，イ①  “How many?”ゲームをして，英語での数の数え方を知ろう。  ・“How many?”ゲーム  T: How many apples are there?  S: One, two, three …  ①Hi, friends!2P.2,3を見せ，それぞれが何個（何匹）あるのかを覚える。（見せる時間はそれぞれ適切な時間を選ぶ。）  ②“How many ~?”と質問をし，それに答える。  ③指をさして数を数えながら答えを確認する。  （数の多いもの《apple１００個》少ないもの  《ball１個》があるので基本的には少ないものから取り上げていくとよい。）    英語で１００まで数を数えるのは単調になりが  ちなので，一斉で数えたり，１人ずつ順番に数  えたりと工夫をして数えていきたい。  4. Evaluation  ・**Good job！シート**で振り返る。 | 1.Warm-up　あいさつと歌  ・Let’s Chant “How many penguins?”  2. ALT’s Time  ・様々な言語での数の数え方を知る。  （ALTの母国語から紹介し，他の国での数の数え方をALTとHRTが紹介をしていく。）  3. Activity　ア②，イ②，ウ②  似ている形のアルファベットに気をつけて，ビンゴをしよう。  ・アルファベットペアリングゲーム（大文字と小文字）  ・“Alphabet Bingo”  　子どもの実態に応じて，ビンゴシートの大きさを変えていく。（３×３，４×４，５×５）  S: What do you have?  T: I have“a”.  ①小文字アルファベットカードを机上に並べてビンゴシートを作る。  （形の似ている““b”と“d”,“h”と“n”,  “p”と“q”,“r”と“n”等を意図的に入れる。）  ②ビンゴになった列のアルファベットを発表する。  ビンゴシートに形だけでなく，音（名前読み）の似て  いるアルファベット（“b”と“v”,“ｇ”と“z”,  “l”と“m”と“n”）を入れるとより効果的。  4. Evaluation | 1.Warm-up　あいさつと歌  ・Let’s Chant “How many penguins?”  2. ALT’s Time  ・絵の中にあるアルファベットの表示（看板）を  書き写す。pp.4-5 Activity 1  3. Activity　ア③，イ③  同じカードを相手が持っているかどうかを確かめながら，“Make Pairs”ゲームをしよう！  ・“Make Pairs”ゲーム  S1: Do you have “a”?  S2: Yes, I do. / No, I don’t.  ①ペアになり、それぞれが２６枚の小文字アルファベットカードから１３枚選んで手に持つ。  ③自分と同じカードを相手が持っているか,  上記の対話を使い，交互に尋ね合う。  ④２人が同じカードを持っていれば，カードをペアにして机の上に置いていく。  ⑤手持ちの１３枚分の対話を繰り返し，多くのペアカードをつくったペアの勝ちとなる。  たくさんのペアカードではなく，なるべく少ない方  が勝ちとしたり，ポイントの高いラッキーアルファ  ベットを決めたりして活動するのもおもしろい。  めたり  4. Evaluation | 1.Warm-up　あいさつと歌  （１）Let’s Chant “How many penguins?”  （２）ポインティングゲーム  （詳しくはHi, friends! 2指導編P.5）  ①指導者が絵の中にあるアルファベットを言う。  ②児童はそのアルファベットを聞き取り，指をさす。  2. ALT’s Time  ・自分の住む町にある英語表記の看板や標識の写真を見て，アルファベットに慣れ親しむ。  ・アルファベットの様々な書体についての話を聞く。  3. Activity　ア③，イ③  どのアルファベットカードが欲しいのかはっきりと伝えて，“Make Words”ゲームをしよう！  ・“Make Words”ゲーム  S1: Do you have “a”?  S2: Yes, I do. / No, I don’t.  上記の対話をしながらカードを集め，１つの単語を作る。単語は既習の語の中から選ぶ。  カードを集めて単語を完成させることの喜びを  味わうことができるように『はじめに持つカード  の枚数』と『活動時間』に配慮する。児童の在籍  人数にあわせて選択するとよい。母音カードは特  に多く使うので多くの児童に持たせるとよい。  4. Evaluation  ・**Good job！シート**で振り返る。 |
| 評価 | ウ①（Hi, friends!2）イ①（観察）ア①（観察） | ア②（観察） イ②（観察）　ウ②（観察） | ア③（観察）イ③（観察） | ア③（観察）イ③（観察） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ［単元における評価の観点］ | | |
| ア　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝへの関心・意欲・態度 | イ　外国語への慣れ親しみ | ウ　言語や文化に関する気付き |
| ①３１～１００までの数の言い方を知り，数を数えようとしている。  ②小文字の形とその読み方に興味，関心をもち，活動に取り組もうとしている。  ③進んで自分の思いや願いを伝えたり，相手の意向を聞いたりしようとしている。 | ①３１～１００までの数の言い方に慣れ親しんでいる。  ②アルファベットの小文字の形とその読み方に慣れ親しんでいる。  ③相手があるものを持っているかどうかを尋ねたりそれに答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 | ①世界には様々な文字，言語があることに気付いている。  ②アルファベットの小文字には似ている形のものがあることに気付いている。 |